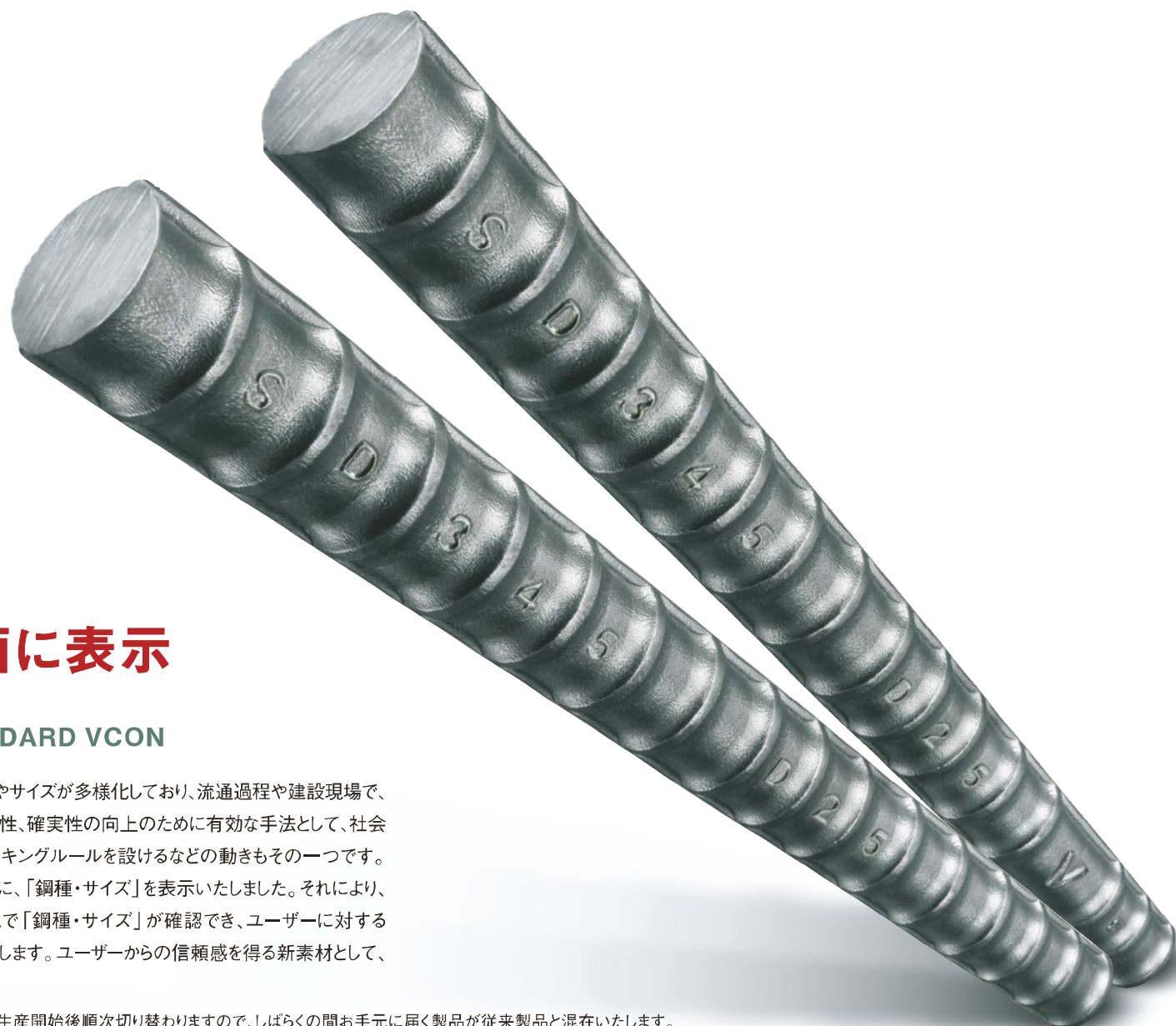


OTANIは品質至上主義 ① 鋼種・サイズを両面に表示、作業性、確実性がアップ

NEW STANDARD VCON

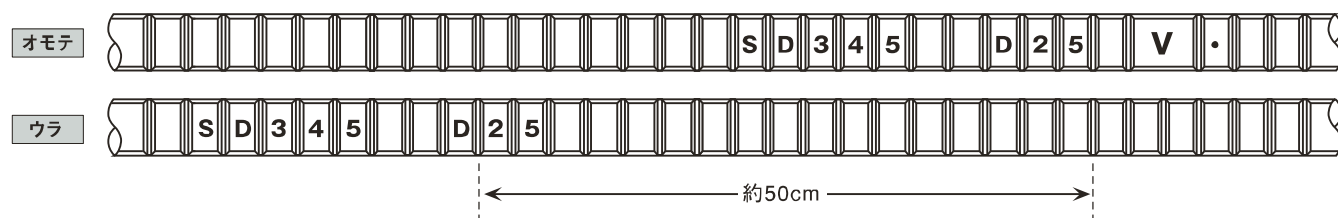


鋼種とサイズを両面に表示

1. 鋼種・サイズを両面に表示したSTANDARD VCON

近年、建築物の高層化が進む中、使用される鉄筋の鋼種やサイズが多様化しており、流通過程や建設現場で、「鋼種・サイズ」が目視で確認できることは、現場での作業性、確実性の向上のために有効な手法として、社会的なニーズとなっています。業界として色分けによるマーキングルールを設けるなどの動きもその一つです。OTANIは、ロールマーク「V」がある面とその裏面の両面に、「鋼種・サイズ」を表示いたしました。それにより、鉄筋加工や打設・組み付け作業の現場において、目視で「鋼種・サイズ」が確認でき、ユーザーに対する信頼性、現場工事における作業性が飛躍的に向上いたします。ユーザーからの信頼感を得る新素材として、時代のニーズに応えます。

※鋼種・サイズを表裏両面に表示したSTANDARD VCONは、生産開始後順次切り替わりますので、しばらくの間お手元に届く製品が従来製品と混在いたします。従来品との品質的な違いはありません。



2. 品質の均一化

お客様にお届けする製品の全てのロットが、要求された規格に合格していることは当然のことですが、OTANIが目指す品質管理は、お届けする製品が要求された規格ごとに均一な品質であること。つまり、ロットごとのバラツキがなく、製品がどの切り口から見ても同じ品質であることです。製造ラインにおいては妥協を排除した工程管理、品質管理を行なうことで、品質の均一化を徹底的に追求しています。

3. 10連続チャージで実証。JISよりも厳しいOTANIブランドの基準

OTANIが品質を追求するのは、JISが要求するからではありません。お客様が要求する品質があるから、私たちはより厳しい独自の試験・検査を実施しているのです。すべての品質管理は、顧客満足のために。ISO9001の認証取得や全国で2例目となるASRP審査資格要件評価審査を受審するなど、[VCON]はさらに高い品質と評価をめざします。

JIS規格 (化学成分%)

種類の記号	C	Si	Mn	P	S	C+Mn/6
SD345	0.27以下	0.55以下	1.60以下	0.040以下	0.040以下	0.50以下

試験結果の具体例

OTANI STANDARD VCON 無作為抽出<10連続チャージ>

化学成分 (%) 無作為抽出<10連続チャージ>

鋼種	C	Si	Mn	P	S	Cu	Cr	Sn	C+Mn/6
SD345	0.22	0.16	0.93	0.026	0.024	0.24	0.25	0.02	0.38
	0.21	0.14	0.91	0.029	0.023	0.26	0.28	0.02	0.36
	0.22	0.14	0.94	0.028	0.024	0.25	0.27	0.02	0.38
	0.22	0.16	0.94	0.026	0.024	0.25	0.22	0.02	0.38
	0.22	0.15	0.92	0.027	0.027	0.29	0.24	0.02	0.37
	0.22	0.17	0.94	0.024	0.024	0.26	0.21	0.02	0.38
	0.23	0.15	0.92	0.024	0.023	0.25	0.24	0.02	0.38
	0.22	0.16	0.93	0.025	0.024	0.23	0.24	0.01	0.38
	0.23	0.16	0.92	0.025	0.024	0.25	0.27	0.02	0.38
	0.23	0.17	0.92	0.024	0.028	0.26	0.24	0.01	0.38
平均	0.22	0.16	0.93	0.026	0.025	0.25	0.25	0.018	0.38
σ	0.006	0.011	0.011	0.002	0.002	0.016	0.022	0.004	0.007

JIS規格 (機械的性質) SD345 D25

種類の記号	降伏点または耐力 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	引張試験片	伸び (%)
SD345	345~440	490以上	14A号に準じるもの	19以上

機械的性質 無作為抽出<10連続チャージ>

鋼種	サイズ	降伏点 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)
SD345	D25	396	562	24
		397	561	25
		397	558	23
		395	557	23
		397	553	26
		396	562	26
		396	557	24
		394	557	23
		398	569	25
		391	564	26
平均		396	560	25
σ		2.00	4.55	1.27

4. 数字や文字表示の強度への影響も確認

製品表面に、数字・文字を表示することによる製品強度や曲げ性への影響を繰り返し調査し、最適な加工条件を決定しており、お客様に安心してお使いいただける品質を確保しています。「降伏点、引張強さ、伸び」について、外部機関に試験を依頼いたしました。従来品と、「鋼種・サイズ」入り製品に差は見られませんでした。また、数字・文字を鉄筋の両面にいれることによる強度への影響はありません。

試験実施: 富山県工業技術センター中央研究所
鋼種とサイズを表示したSTANDARD VCONで調査実施

	SD345 D25	文字表示		JIS規格
		文字有り	文字無し	
降伏点	最大値	402	400	345~440N/mm ²
	平均値	391	390	
	最小値	384	385	
引張強さ	最大値	575	573	490N/mm ² 以上
	平均値	567	566	
	最小値	562	562	
伸び	最大値	28	30	19%以上
	平均値	25	25	
	最小値	22	22	

n=30